



市議会だより

□発行日 平成24年(2012年)2月1日 □編集と発行 泉南市議会報編集委員会 泉南市樽井一丁目1番1号 TEL. 072-483-0008
FAX. 072-484-2085

市議会ホームページもご覧ください。 <http://www.city.sennan.osaka.jp/~gikai/>

泉南市議会

検索



▲消防出初式(1月8日 南部広域防災拠点にて)

第4回 定例会

「泉南市国民健康保険税条例の 一部を改正する条例」を否決

平成23年第4回定例会(12月議会)は、12月7日から21日までの会期で開催されました。

本定例会では、「国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定」が否決され、「国民健康保険税の値上げに反対を求める請願」が採択されました。また、特別職や一般職の職員の給与に関する条例の一部改正、指定管理者の指定、各会計予算(補正予算)などについて、活発な議論が交わされました。

詳しくは、掲載記事をご覧ください。

公明党

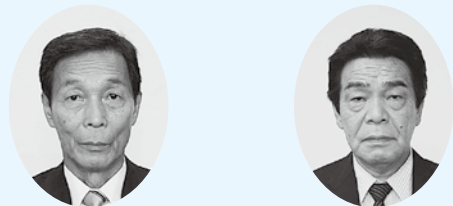


◎中尾 広城 ○原 憂子 竹田 光良 井原正太郎

本年は、平成20年の改選より4年目最後の年となり、我々の任期も残り少ない。この3年間、行革を叫び、公立幼稚園、小学校の統廃合が成立した。

また、議会改革を叫び、議会のネット放映を実施し、昨年、定数削減を提案し可決となった。くしくも立党精神「大衆と共に…」が発表されて50年を迎える本年、最後の年であり最初の年として市民の皆様へ悔いなく尽くす1年にしてまいります。

心政クラブ



◎南 良徳 ○堀口 武視

昨年は東日本大震災や台風12号による大災害で多くの尊い命が失われました。本市においても早急に防災対策の見直しや危機管理体制の再構築が必要であります。

4月には市の将来像を示す「第5次総合計画」の策定、観光協会の設立等、新たな取り組みのスタート年となります。市民の皆様への幸福度アップを目指して全力で活動してまいりますので、ご支援よろしくお願い申し上げます。

辰年に抱負を語る

～各会派の抱負と会派構成～

◎は幹事長、○は副幹事長(無所属含む)



議長 竹田 光良

拓進クラブ



◎真砂 満 ○河部 優 木下 豊和

謹んで新春のお慶びを申し上げます。昨年は、“災い”の一年でありましたが、“絆”や“生命”の大切さについて貴重な教訓を得た年でもありました。

拓進クラブの3名は、市政の発展はもとより、市民福祉の向上や生活の安定、安全・安心社会の実現をめざして、様々な課題に対して積極的に取り組んでまいります。

本年もよろしくお願いいたします。

無所属(泉南フォレスト)



森 裕文

一陽来復。日本の国も泉南市も、正に復興の新年を迎えました。未曾有の危機からの復興は、市民・国民、行政、議会が共に手を携えて臨まなければなりません。是非とも、市民の声をお聞かせください。そしてどうか、議会の議論を聞く耳をお持ちください。議会はこれからも市民に発信してまいります。

大八洲の会



◎梶本 茂麿



○北出 寧啓

「泉南市議会基本条例制定途半ば」

私たちは地方民会以来、議会基本条例制定に取り組んでまいりました。昨年には議会基本条例調査特別委員会ができ、7月には岸和田市と熊取町の視察を行い貴重な意見を伺ってまいりました。しかし、いまだ各会派の温度差が縮まらず難航しております。私どもの任期中に制定できるかどうかあやしくなっておりますが、最後まで頑張ります。

日本共産党



◎大森 和夫



○松本 雪美



和気 信子



成田 政彦

東日本大震災、原発事故、就職難、砂川小学校プール死亡事故や年金の引き下げなど昨年は大変な年でした。

一方、国民健康保険税の値上げにつながる条例は、3422筆の署名を力に否決することができました。

今年はさらに市民との絆をつよめ、災害に強いまちづくり、命を大事にする安全・安心の泉南市をつくるため、全力でがんばります。



副議長 和気 信子



無所属(虹と緑)



小山 広明

人は一切の責任を担っている。東北大震災、原発事故。命を奪った砂川小学校プール事故、貸付金回収で市長に隠して肩代わりする体質。死刑廃止を願う。住居表示再開、不燃物置場の汚染物除去、ゴミ置き場の責任、民間定年者の職員化。水道自己水化、下水道の見直し、関空問題等に取り組んでまいります。

市政研究会



◎角谷 英男



○谷 外嗣

今、政治及び政治家の資質が問われている。私たちは政治に対する信頼を今一度取り戻す必要がある。

その為には、より一層情報公開、情報収集を計らなければならない。その一つとして、本会議だけでなく予算・決算も含めた全委員会のインターネット放映や議会自らが市内へ出向き、市民との意見交換を行う必要があると思う。市民各位のご意見を。

質疑あれこれ

12月定例会の議案の中から、主な質疑を要約してお知らせします。

請願第3号 採択

『市民生活を圧迫する国民健康保険税の値上げに反対を求める請願』

賛成 資産割を廃止し、その負担を所得割や賦課限度額に転嫁することは、市民の生活を苦しめ、市民は値上がりを受け止めることから、請願に賛成する。

▼厚生消防常任委員会質疑

問 本請願は、値上げに反対することしか記載されていないが、議案第13号に対する請願ではないのか？

答 条例に対する請願であり、保険税が値下げになる方もあるが、値上げになる方にとっては、生活が困難な状況に陥るため、全体を捉え、公平性を意識しなければなりません。

議案第13号 否決

■泉南市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

平成23年10月13日に市長に提出された泉南市国民健康保険運営協議会の答申に基づき、国民健康保険税賦課の応能部分である資産割を廃止することが主な条例の改正です。

賛成 今改正案は、国保税のうち、不合理・不平等である二重課税にあたる資産割課税を廃止し、生じる不足分を再配分し、資産の有無に関わらず平等に課税する措置で値上げではないことから賛成

する。

反対 資産割の廃止は、市民の立場に立ったものではなく、賦課限度額撤廃をすべきである。

また、水道料金の値上げなど相次ぐ値上げで市民生活は苦しくなるため反対する。

▼厚生消防常任委員会質疑

問 今回の資産割の廃止に伴う負担を所得割や賦課限度額に転嫁するのはなぜか？

答 資産割を廃止した場合、税収は、17億円から1億6000万円程度の減額となります。よって、収入

議案第9号 可決

■特別職の職員の給与に関する条例及び泉南市教育委員会の教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
(おもな改正内容)

・給与月額

○市長 91万円から85万円

○副市長 78万円から72万円

○教育長 71万円から65万円

・さらに支給額を減額

平成24年4月1日～平成29年3月31日まで

○市長 76万5000円

○副市長 65万5200円

○教育長 61万7500円

反対 減額する事がよくやっていると、いう事にはならず、職務に対しての理解を求める粘り強い説明責任を果たす事を基本にすべきである。

▼総務文教常任委員会質疑

問 今回の条例の改正は、厳しい不況による悪循環のひとつになっていないか？

答 今般、世界経済はデフレの影響を大きく受けており、回復には時間がかかる厳しい時代を迎えています。本市も財政早期健全化宣言を踏まえ、財政状況を勘案した中で、今回の給与支給額の減額を行いました。

議案第8号 可決

■指定管理者の指定について

(泉南市立鳴滝第1保育所)

平成24年度からの泉南市立鳴滝第1保育所の指定管理者による管理運営について、指定管理者を株式会社ニチイ学館に指定することに關する議案です。

■反対

人件費が多くを占める保育事業について、民間企業による不安定な労働条件下での保育には反対である。

市は市民のために公立保育所の運営に責任を持つべきである。

▼厚生消防常任委員会質疑

問 株式会社ニチイ学館による指定管理について、収支が赤字となった場合の危機管理はできているか？

答 株式会社ニチイ学館は、公認会計士を配置するなど、財務状況の健全性評価においても最高位を維持しています。また、赤字が出た場合でも、保育事業における収支は、資産規模の1%にも満たないので問題はありません。



泉南市立鳴滝第1保育所

議案第6号 可決

■指定管理者の指定について

(文化ホール)

平成24年度からの泉南市立文化ホールの指定管理者による管理運営について、指定管理者を国際ライフパートナー株式会社指定することに關する議案です。

■反対

文化は公が担うものであり、市民生活の向上と文化及び芸術の普及などを図るため文化活動に携わる非営利団体に管理させるべきであるため反対する。

議案第7号 可決

■指定管理者の指定について

(体育館・テニスコート・市民球場)

平成24年度からの右記の3施設の指定管理者による管理運営について、指定管理者を泉南市体育協会に指定することに關する議案です。

■賛成

実績を評価し公募にしかかった事は良いと考えるが、もうひとつ市民自身が運営できる団体の育成が必要である。

未修理の雨漏りは早急にすべきという意見を付して賛成する。

▼総務文教常任委員会質疑

問 指定管理導入による効果額は？

答 単年度で約1600万円の効果があがっています。

問 適切な維持管理について、今後の修繕計画は？

答 平成24年度は、展示室の雨漏りの修繕を行います。また、今後の予定については、第一候補として自家発電を考えています。

▼総務文教常任委員会質疑

問 体育館などの施設の今後の修繕内容は？

答 体育館については、雨漏りの修繕として、約200万円見込んでいます。また、非常用の発電機は、修理をする場合は、約170万円、新しく入れ替える場合は、約1500万円の費用を見込んでいます。

テニスコートについては、全面を張り替える場合は、約300万円の費用を見込んでいます。

議案第10号 可決

■一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

平成23年の人事院勧告に準じて一般職の職員の給与改定を行うとともに、平成22年10月から独自に実施している給与削減措置との調整を図る条例の改正です。

賛成 給与を下げる安易な対応は結果的には市民のためにはならない。関係団体との協議を尊重し、給与カットによる職員のモチベーションを十分配慮するなどの意見を付して、賛成する。

▼総務文教常任委員会質疑

問 今回の給与改定は、職員の生活に大きな影響を与えると思うが、災害時など、「命を張って市民を守る」という役割を担う立場に対し、生活を安定させ、職務に没頭できる環境づくりが必要ではないか？

答 今回の人事院勧告に準ずる給与改定は、概ね40歳以上の職員が対象となっており、総額で約700万円の減額となります。

その一方で、影響に伴う緩和策として、平成22年10月から独自に実施している給与減額期間を1ヶ月短縮することにより、全職員を対象に約470万円の緩和が得られることとなります。

議案第11号 可決

■泉南市男女平等参画推進条例の制定について

男女が平等に参画できる社会づくりを推進するための条例の制定です。

賛成

現状はまだ難しい状況であるが、男女が平等に生きがい働きがいをもてる社会をめざし、この条例を出発点に、市民への啓発と市の一層の努力を求める。

▼総務文教常任委員会質疑

問 今回の条例の制定について、「女性を守る」という視点から、男女の役割分担や社会的な慣行は、どのように保証されるのか？

答 男女が個人の能力によって均等に、そして、主導的に社会に参画する機会が確保されるという考え方です。

議案第12号 可決

■泉南市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

介護保険料の納期は、現在、6月から翌年3月の10期に分割していますが、今回の条例改正により、4月から翌年3月の12期に分割し保険料を徴収することに変更します。

討論はありません。

▼厚生消防常任委員会質疑

問 納期を変更することに伴う運営上の支障はないか？

答 運営上の支障については基本的にはないものと考えていますが、特に保険料の額については、市民税の修正申告なども踏まえて、算定を行っていきます。

議案第15号 可決

■平成23年度大阪府泉南市一般会計補正予算（第3号）

歳入歳出予算について、1億6067万9000円の減額補正をします。

（おもな内容）

減額の事業

- ・ 泉南市行政LAN事業
- ・ 子ども手当事業
- ・ 母子高等技能訓練事業
- ・ 増額の事業
- ・ 生活保護事業

議案第16号 可決

■平成23年度大阪府国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）

賛成 出産に伴う医療事故に対する3万円の公費支出について、実際の出費と保険料負担に膨大な差があり、それらは結果的には市民の負担となるため保険料の見直し（引き下げ）の意見を付して賛成する。

▼平成23年度予算審査特別委員会（補正予算）質疑

問 出産育児一時金の1件単価が恒久的に42万円となった状況は？

答 出産にかかる医療事故の保険として、医療事業者から積み増しするための原資となるものです。

反対 「住居表示について、岡田や樽井は終わっているが、信達市場などは未だ住居表示がされておらず不便を与えている。

よって、住居表示実施に向けての予算が反映されていない補正予算には反対する。

▼平成23年度予算審査特別委員会（補正予算）質疑

問 「生活保護事業」5261万9千円の増額内容は？

答 高齢者世帯、疾病障害者世帯、母子世帯、その他の世帯の4つの区分に分かれており、その内、疾病障害者世帯が平成18年度以降より大きく増加しています。

議案第17号 可決

■平成23年度泉南市水道事業会計補正予算（第2号）

反対 基本的なこととして金熊川からの取水を一定の水量を超えて長年取水して来た実績に立って、山が半分の泉南市は自己水100%を議会主導すべきである。

▼平成23年度予算審査特別委員会（補正予算）質疑

問 水道事業の現状は？

答 震災などの影響により、節水意識が高まり、昨年度に比べ、1・56%の使用料の減少となっています。また、4月からの料金改定に伴う影響は、5・53%の増となっています。

一般質問 ～14名が市政を問う

12月7日～9日の3日間、一般質問が行われました。



成田 政彦
日本共産党

問 同和更生資金貸付基金償還について、職員が未納者の立てかえをしたことは、議会答弁と食い違っているのでは。

答 現在、調査中ですが、市議会及び市民の信頼を失わせた非常に大きな問題と認識している。信頼回復に向け、やるべきことを徹底して進める。



木下 豊和
拓進クラブ

問 大阪府知事及び市長選挙結果の感想は。「都構想」ははじめ泉南市への影響をどのように捉えられるか。

答 改革への期待の現われで、民意として受け止める。都構想は、長所短所あり、府民の判断が得られるような形が必要。



小山 広明
無所属
(虹と緑)

問 同和更生資金貸付金の回収肩がわりは、結果的に苦しむのは被差別部落の人たち。市長が「知らなかった」のは、より問題。

答 知らなかったという事で問題が無かったという事は絶対にない。全容解明時点で市民への説明、謝罪をしっかり行う。



大森 和夫
日本共産党

問 プール死亡事故を教訓に、命にかかわる事業は経費削減のための民間委託はやめ、市の責任で運営すること。

答 反省すべき点はたくさんあるが、方式が誤っていたとは考えていない。事故調査委員会の報告を踏まえ考えていきたい。



角谷 英男
市政研究会

問 広域行政で火葬場の建設を行う点で、基本設計が変わるのでは。林野組合との協議は。樽井火葬場の跡地は。

答 元の基本計画に準じ進めていく。未契約だが、林野組合の合意は得ている。跡地は地元意見を聞き、利用方法を考える。



原 憂子
公明党

問 胆道閉鎖症の早期発見に便色調カラーカードを母子手帳に添付が必要。市の対応と考える。

答 便カラーカードは、早期発見の補助手段として有効性が確認され本市において24年度の母子手帳に添付するよう進めている。



梶本 茂麿
大八洲の会

問 観光協会設立準備委員会の提言を受けて、今後市長の方針の中にこの提言書をどのように生かしていくのか。

答 提言は本市の現状課題等全般にわたっており、観光協会が主体となり観光振興を進められるよう、財政支援をしていきたい。



北出 寧啓
大八洲の会

問 本市は児童を持つ住民が必要とする総合的な窓口がなく、課題解決に子ども相談窓口（場所・電話）を一本化すべき。

答 教育、福祉部局の連携をより一層強化し、市民広報を工夫するとともに、統一的な対応をめざしていきたい。



松本 雪美
日本共産党

問 社会保障として実施されてきた国民健康保険は、弱い立場の人たちが加入者。不公平感が生じる見直しはやめるべき。

答 資産割を廃止し、均等割、平等割及び所得割の3方式という賦課内容に変更する点をご理解願いたい。



真砂 満
拓進クラブ

問 りんくうタウンの岡田浦漁協から樽井海水浴場までの間を一帯整備し、泉南市の新たな観光資源にすべき。

答 都市公園法の枠があるが、以前からの経緯を含め地域の賑わい発展、活性化のため最大限努力していく。



中尾 広城
公明党

問 遠距離通学地域(岡中方面)の小学生の安全と家庭負担の軽減を要望する。

答 桜ヶ丘団地はコミュニティバスを朝夕で運行。関空山の手台、朝日山団地の小学生家庭の通学費補助を平成24年度予算に計上する。



井原正太郎
公明党

問 当市の生活保護の実態と今後の課題は。また、保護対象者への就労支援は。

答 稼働年齢層の保護受給者が増加。就労支援の重要性を認識しており、臨時職員一名を就労支援員として雇用し実施対応していく。



森 裕文
無所属
(泉南フォレスト)

問 新火葬場計画について、市民に一定の現況を説明すべきではないか。とりわけ財政に及ぼす影響をきっちりと。

答 区長連絡協議会に進捗及びこれまでの経緯について説明済みであり、必要に応じ説明しているものと認識している。



河部 優
拓進クラブ

問 新幼稚園開園当初、入園式などで混乱があったが後の対策は。行事時の駐車場確保は。発達保障としての遊具設置は。

答 来年度入園式は歳児別に分け2回行う予定。駐車場確保は文化ホール等で対応したい。遊具については検討したい。

※1名欠員

議案賛否一覧

議案番号	件名	賛	否	結果
議案第6号	指定管理者の指定について(文化ホール)	賛成 13 反対 5	河部、梶本、原、中尾、木下、真砂、森、井原、谷、角谷、北出、南、堀口 和気、大森、小山、成田、松本	原案可決
議案第7号	指定管理者の指定について(体育館、テニスコート、市民球場)	全会一致		原案可決
議案第8号	指定管理者の指定について(鳴滝第1保育所)	賛成 12 反対 6	河部、原、中尾、木下、真砂、森、井原、谷、角谷、北出、南、堀口 和気、梶本、大森、小山、成田、松本	原案可決
議案第9号	特別職の職員の給与に関する条例及び泉南市教育委員会の教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	賛成 17 反対 1	河部、和気、梶本、原、中尾、木下、真砂、大森、森、井原、谷、角谷、成田、松本、北出、南、堀口 小山	原案可決
議案第10号	一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	全会一致		原案可決
議案第11号	泉南市男女平等参画推進条例の制定について	全会一致		原案可決
議案第12号	泉南市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致		原案可決
議案第13号	泉南市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	賛成 3 反対 11 退席 4	真砂、森、南 河部、和気、梶本、原、中尾、大森、小山、井原、成田、松本、北出、木下、谷、角谷、堀口	原案否決
議案第14号	泉南市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例に制定について	全会一致		原案可決
議案第15号	平成23年度大阪府泉南市一般会計補正予算(第3号)	賛成 17 反対 1	河部、和気、梶本、原、中尾、木下、真砂、大森、森、井原、谷、角谷、成田、松本、北出、南、堀口 小山	原案可決
議案第16号	平成23年度大阪府泉南市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	全会一致		原案可決
議案第17号	平成23年度泉南市水道事業会計補正予算(第2号)	賛成 17 反対 1	河部、和気、梶本、原、中尾、木下、真砂、大森、森、井原、谷、角谷、成田、松本、北出、南、堀口 小山	原案可決

請願賛否一覧

議案番号	件名	賛	否	結果
請願第3号	市民生活を圧迫する国民健康保険税値上げに反対を求める請願	賛成 9 反対 6 退席 3	和気、原、中尾、大森、小山、井原、成田、松本、北出 河部、梶本、木下、真砂、森、南 谷、角谷、堀口	採択

意見書・決議の賛否一覧

議案番号	件名	賛	否	結果
議員提出議案第16号	子宮頸がん予防ワクチン等3種の定期接種に関し早期に国の制度確立を求める意見書について	全会一致		原案可決
議員提出議案第17号	大阪府教育基本条例の制定に反対する決議について	賛成 8 反対 10	和気、真砂、大森、小山、谷、角谷、成田、松本 河部、梶本、原、中尾、木下、森、井原、北出、南、堀口	原案否決

▼その他の議案賛否一覧

議会議案第4号	平成23年度予算審査特別委員会委員の選任について	2名選任
付託議案第16～35号	平成22年度大阪府泉南市一般会計歳入歳出決算認定について ほか19件	原案認定可決
泉南監報告第17～19	例月現金出納検査結果報告 ほか2件	報告済
議案第1号	泉南市教育委員会委員の任命について	原案同意
議案第2号	泉南市教育委員会委員の選任について	原案同意
議案第3～5号	人権擁護委員を推薦するための意見を求めるについて ほか2件	原案了承

▼審議未了となった議案一覧(1月19日に臨時会で再審議)

選挙第3号	泉南市選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について
選挙第4号	泉南清掃事務組合議会議員選挙について
議会議案第1号	常任委員会委員の選任について
議会議案第2号	議会運営委員会委員の選任について
議会議案第3号	特別委員会委員の所属変更について
議会推薦議案第1号	泉南市都市計画審議会委員の推薦について
議会推薦議案第2号	泉南市農業委員会委員の推薦について

議会報編集委員会

委員長 小山 広明
副委員長 角谷 英男
委員 梶本 茂樹
委員 和気 信子
委員 原 憂子
委員 真砂 満
委員 南 良徳

お持ちしています
ご意見
ご感想

議会だよりに対するご意見・ご感想をお寄せください。
〒590-0592(住所不要)
泉南市議会事務局
TEL 483-0008 FAX 484-2085
e-mail:gikai@city.sennan.lg.jp

編集後記

頼もしい若者が時代の中から生まれてきます。1月9日に行われた成人式では、若者の主体性がかがえました。予定通りに行かない事で楽しくなったり様々であり人間は深いと思います。議会運営においても、予定通り行かないところから新しいものが生まれ、その時、実力が問われます。内に力をつける日々を心がけたいと考えております。